

令和6年度 第3回学校運営協議会 報告

- 1 会議 令和7年2月28日(金) 14:00~15:30
- 2 出席者 委員4名、校長、事務局4名 計9名(会長、委員1名欠席)
- 3 協議
 - (1) 今年度 学校教育自己診断の結果
国際交流、行事の充実に対する感触、期待値が大きい。一方で、進路指導・生徒指導の方針が見えないことを課題と感じている。わかりやすく伝えるための見える化が必要。
 - (2) 今年度の取組について
 - ・探究発表会
保護者やご協力いただいた企業・地域の方が参観できるように案内した。各学年代表班が体育館にて発表。(代表発表1班の録画を視聴)
 - ・国際交流
オーストラリアへの訪問は24名、永春高校訪問は20名、永春高校からの来校は24名だった。今年度より、国際交流がしっかりとできるようになったことが本当に良かった。
 - ・将来構想検討委員会の取組
研究授業や工夫を教える会・全体研修など、今年度も様々な取り組みを実施。次年度も継続して北千里のために動く。
 - (3) 令和6年度学校評価について
生徒・保護者からの評価は高いが、その分教員からの評価が厳しい。生徒・保護者が希望する進路の実現のため、教員が生徒一人ひとりに向き合っている結果だと思われるが、その分教員の時間外労働時間が多くなっている。また、将来構想検討委員会をはじめとする数多くの先生方に北千里のために日々頑張ってもらっている。特に授業改善については、将来構想検討委員会が主導で研修をすすめており、多くの先生方が研究授業の見学に来ている姿がある。
 - (4) 令和7年度学校経営計画について
時間外労働80時間超の教員を0とする。
- 4 質疑・意見交換及び提言
 - ・時間外労働時間が80時間超となる教員の数に0にする具体的な取組は？
⇒平日、校内にいる時間を減らす。そのためにも、部活動はできるだけ分担をする。まずは平日の勤務をいかに減らしていくかを検討していく。
 - ・小高交流をさせていただいたのは本当にありがたかった。普段、小学6年生は低学年の児童の面倒を見る立場であるが、この交流中は面倒を見てもらう側として参加ができ、大変喜んでいる様子が見受けられた。このような異世代交流ができたことは児童たちにとってすごく良い経験となった。
 - ・学校に1人はICTに長けている人が常駐してくれると本当にありがたい。それは小も高も同じこと。
 - ・PTAとしては、先生方との交流の機会・時間をもっと設けてもらいたいが、平日だと保護者が集まりにくく、休日だと先生方の負担となるので、これからもその機会・時間を設けることを模索していきたい。
 - ・最近、大学の授業でもディスカッションや発表の機会が増えている。それに対して、すごく慣れている生徒もいればそうでない生徒もいる。それは、高校までに自分が情報の発信者になる機会があるかどうかによるとと思われる。

○学校経営計画について、承認された。(欠席委員は別途確認済)